

101 講座 生命の輝きを描いた画家たち

開催日 金曜日 14:00～15:30 回数 全3回 受講料 4,500円 定員 20名 お申込み締切日 5/12(金)



講師：市川 昌

江戸川大学名誉教授
日本生涯教育学会会員
日本メディア学会（前日
本マス・コミュニケーション学
会）会員

近代絵画のあけぼのは、自然とともに生きる生命の輝きを、写生して描く試みから生まれた。この試みは、江戸時代、京都の青果商であった伊藤若冲が、出家して写生をもとに多くの動植物の實相を描いたことに始まる。西欧では17世紀の北イタリアの修道院で修行僧カラヴァッジョが人を殺めて逃亡し、地中海のマルタ島騎士団に保護され、「聖ヨハネの斬首」など、これまでの宗教画にないリアリズムで生と死を描いた。19世紀を中心に、日本の浮世絵を改革した北斎、広重、歌麿に影響を受けたゴッホやルノアールの印象派が、近代絵画の時代を築いた。

この講座では生命の輝きを描いた画家と作品を基に、人間の時代といわれる近代絵画の歴史と、画家たちの生き方を考えたい。

- 第1回 5月19日 ◇小さな動植物とともに・伊藤若冲
- 第2回 5月26日 ◇生と死と祈り・カラヴァッジョ
- 第3回 6月02日 ◇浮世絵から印象派へ・ゴッホとルノアール

[講師プロフィール] 東京教育大学卒業後、NHK番組制作局に入局。教育教養番組などを制作し、東南アジアおよび中南米諸国で番組演出指導。文部省放送教育開発センター助教授を経て、平成元年に江戸川大学教授となる。マス・コミュニケーション学科長、社会学部長を務め、現在は江戸川大学名誉教授として、東西文化交流などをテーマにマルチメディアを活用した講座を各地で実施している。

102 講座 日本の自然と神々

開催日 木曜日 14:00～15:30 回数 全3回 受講料 4,500円 定員 20名 お申込み締切日 5/18(木)



講師：宇野 正人

江戸川大学名誉教授

日本は自然に恵まれた風光明媚な国柄である。日本人は古代から自然を愛で、自然に囲まれた社寺への巡拝や代参も盛んだったので、街道や宿場宿坊の整備も早くから行われた。それら風光明媚な場所には、大小を問わず、神社が祀られている。そして、いかような場所にある神社でも、必ず自然に囲まれている。

また、祀られる神々の大部分には自然と結びついた信仰があり、日本の神々は自然と共にあるとあって良いだろう。

産業革命以降、人間は利器や技術を得た。それにより日常生活が豊かになったことは間違いのない。反面、人間は自然を対峙利用し、その結果、自然の減少による大きな問題も惹起されている。

本講座では、自然と神々についての考察と同時に、自然と我々の問題についても受講生の皆様とともに考える。

- 第1回 5月25日 ◇はじめに 自然と神々
- 第2回 6月01日 ◇自然を司り、護る神々
- 第3回 6月08日 ◇まとめ 自然と景観を護る神々

[講師プロフィール] 専門は日本民俗学・宗教学。研究分野は、日本の祭りと近代日本の宗教史。日本全国に存在する祭りの悉皆総合調査、そのデータベース化という大規模な調査研究の立案、実施、完成などを手がけた。他方、全国私立大学共通の「情報基礎教育シラバス」作成に従事し、インターネット、マルチメディア分野を担当。

103 講座 新聞とネットで読み解く国際情勢 —ウクライナ戦争に歪む世界

開催日 月曜日 14:00～15:30 回数 全3回 受講料 4,500円 定員 20名 お申込み締切日 5/15(月)



講師：大江 志伸

江戸川大学名誉教授
読売新聞元論説委員

ロシア軍のウクライナ侵攻から一年余経った今も、戦火は止まない。その“余波”は地球全体に及び、国際秩序、外交、経済から庶民生活、文化、スポーツまで、深刻な歪みを生じさせている。

本講座では、流動化が際立つ日本(日米同盟)、中国、朝鮮半島の三テーマに焦点を絞り、現状と今後を展望してみたい。

- 第1回 5月22日 ◇日本人の国際感度とウクライナ情勢
- 第2回 5月29日 ◇中国の習近平新体制とウクライナ情勢
- 第3回 6月05日 ◇北朝鮮の“金王朝”体制とウクライナ情勢

[講師プロフィール] 1976年4月読売新聞東京本社入社。長野支局、本社編集局地方部、経済部、外報部(現・国際部)勤務のあと、韓国延世大学に社命留学し、韓国ソウル支局長、中国北京支局長(中国総局長を兼務)、タイ・バンコク駐在のアジア総局長として海外報道に長く携わる。帰国後は論説委員として社説、時事コラム、一面コラム「編集手帳」を担当し、この間、膨大な署名記事や著作物を出版。

2006年4月に本学マス・コミュニケーション学科の教授として就任。マスコミ業界への就職を希望する学生に対して、「新聞論」「国際報道論」などの科目を中心に教鞭をとる。現在は、読売新聞社友、BS松竹東急・放送番組審議会委員長としても活動中。

104 講座 美・人類学で自分探検・日本人探検 —美人・美景を美しいと思う自分って何者？

開催日 月曜日 14:00～15:30 回数 全3回 受講料 4,500円 定員 20名 お申込み締切日 6/5(月)



講師：斗鬼 正一

江戸川大学名誉教授

なぜ化粧すると美しい？なぜ鬼は醜い？なぜ定期観光バスは日本だけ？など、言われてみれば？な身近な謎に文化人類学で挑戦します。そういうことだったのか！と目からウロコの謎解きだけでなく、私の目、日本人の目は何をどう見ているのか、その背後にどんな価値観が隠れているのかも見えてきます。「チコちゃんに叱られる！」やエスカレーター歩行問題解説など、メディアでおなじみ“鬼先生”と自分探検、日本人探検の旅を楽しみましょう。

- 第1回 6月12日 ◇美人の文化人類学 私の目は人をどう見ているのだろう…
- 第2回 6月19日 ◇イケメンの文化人類学 日本人とは何者なのだろう…
- 第3回 6月26日 ◇美景と旅の文化人類学 日本人は風景をどう見ているのだろう…

[講師プロフィール] テレビでおなじみの“鬼先生”。「楽しくなければ学問じゃない」をモットーに、「チコちゃんに叱られる！」「タモリ倶楽部」などで文化人類学の楽しさを伝え、「NHKニュース7」などでエスカレーターは歩かないでと訴える唯一のエスカレーター文化研究者。江戸川大学名誉教授。元明治大学大学院・文学部兼任講師。

お申込み・お問合せ先：江戸川大学駒木学習センター 04-7156-7715(平日 9時～17時)
stcenter@edoqawa-u.ac.jp



Web 申込み
はこちらから

106 講座 3日で覚えるハングル文字

—文字の仕組みを理解すれば、ハングル文字はすぐに読めるようになります—

開催日 木曜日 10:00～11:30 回数 全3回 受講料 4,500円 定員 20名 お申込み締切日 6/8(木)



講師：趙昭暎
韓国語講師

ハングルは計14の子音と15の母音で構成されています。以下のような方法で、3日でハングルの学ぶことができます。

①ハングルの子音と母音を学ぶ：

ハングルの基本的な構成要素である子音と母音について勉強します。子音は初声、終声で構成されています。母音は中声で、子音を補完して単語の意味を表します。

②文字の構成を学ぶ：

ハングルの子音と母音がどのように文字を構成するかを勉強します。

全3回の講座でハングル文字を読めるようになります！

第1回 6月15日 ◇母音の仕組みを理解する

第2回 6月22日 ◇子音の仕組みを理解する

第3回 6月29日 ◇単語を読んでみる

【講師プロフィール】麗澤大学大学院日本語教育学専攻卒業。韓国語教員免許2級（韓国慶熙大学にて取得）。韓国サムソン電機外国人社員研修担当（韓国語講師）。

お申込み・お問合せ先

江戸川大学駒木学習センター

当センターWeb ページ内お申込みフォームから、
またはお電話、メールにてお申込みください。

<https://www.edogawa-u.ac.jp/opencollege/>



電話：04-7156-7715（平日9時～17時）

Mail：stcenter@edogawa-u.ac.jp

お申込みにかかる注意事項等

- ・定員に達し次第、募集は締め切りとなります。
- ・申込締切日までにお申込みが8名に満たない場合、講座は中止となります。ご了承ください。
- ・受講料は、開講決定後に払込取扱票を郵送いたしますので、期日までにコンビニエンスストアにてお支払いください。（手数料無料）
- ・駐車場のご用意はございませんので、恐れ入りますがお越しの際は公共の交通機関等をご利用ください。
- ・諸般の事情により講座が中止となる場合がございます。

江戸川大学へのアクセス

◆つくばエクスプレス線、東武アーバンパークライン「流山おおたかの森駅」東口バスターミナルより、無料スクールバスをご利用いただけます。

◆スクールバスの運行予定は大学 Web ページでご確認ください。

<https://www.edogawa-u.ac.jp/koutuu/>